

科目名	ビジネススキルⅠ							年度	2024
英語科目名	Business skillsⅠ							学期	前期
学科・学年	声優・演劇科 1 年次	必／選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	平野真悟		教員の実務経験		2 0 年	実務経験の職種		教員	
【科目の目的】									
芸能界を含む、社会において必要な一般常識やマナーを習得し、人間力を養う。									
【科目の概要】									
シアターゲームや模擬オーディションを活用しながら役者としてのスキルを磨く									
【到達目標】									
学生は社会人としての基本的な学力、教養を身につけることができ、具体的な指標としてビジネス検定3級の取得を目指す。自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提にビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識をつけることを目標にしている。									
【授業の注意点】									
社会人基礎力を養うことが目的であるため、解答を暗記することではなく、問題を読み解く力を身につけることを重要視する。授業中の必要のない私語や受講態度などには厳しく対応し、理由のない遅刻や欠席は認めない。自分の興味のあること以外にも、視野を広げ、社会を広い観点でみるように努力すること。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	相手の目を見て挨拶 することができる		挨拶することができ る			挨拶することが全 くできない			
到達目標 B	課題内容を理解し提 出(発表)する		課題を提出(発表)す る			課題を提出(発表)し ない			
到達目標 C	遅刻・欠席をしない		遅刻・欠席が少ない			遅刻・欠席が多い			
到達目標 D	相手の立場に立って 話を聴き、自分の意 見を述べることで きる		他人の発言に興味を 持って聴くことが できる			他人の発言を聴くこ とができない			
到達目標 E									
【教科書】									
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
平常点 70% 積極性や協調性など、授業への取り組み方を評価します。 レポート 30% 振り返りレポートを作成することにより、自身の成果を確認します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ビジネススキルⅠ				年度	2024
英語表記						学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価	目標
1	自己紹介	クラスの中で自己紹介を行う		他者への意識	人前で自分のことを話してみる		
				他者への興味	他者の話を聴くことができる		
2	他己紹介	他者を知る		他者への意識	他者を意識して会話することができる		
				他者への興味	他者に興味を持つことができる		
3	感覚を養う	芝居人になる感覚を覚える		シアターゲーム	集中力を高める		
				身体を使う	反応を意識できる		
				信頼	信頼を得ることができる		
4	感覚を養う	芝居人になる感覚を覚える		シアターゲーム	集中力を高める		
				身体を使う	反応を意識できる		
				信頼	信頼を得ることができる		
5	自己分析	自分自身を良く知る		長所/短所理解	自己PRの確立		
				他者比較	自己PRの確立		
				自己PR	自己PRの確立		
6	自己分析	自分自身を良く知る		アピールポイント	自己PRの確立		
				セールスポイント	自己PRの確立		
				表現方法	自己PRの確立		
7	思考力強化	自己表現		自己主張	自分の考え方をしっかりと伝えることができる		
				他者主張理解	他者の主張をしっかりと理解し受け取ることができる		
				協調性	考えの幅を広げることができる		
8	好奇心養成	自己表現		読解力	物を読み解く力をつける		
				好奇心	様々な事への好奇心を育む		
				深掘り	深く理解をすることができる		
9	将来設計	自己目標		欲求	業界における分野把握ができる		
				業界理解	業界を知り進むべき方向性を理解する		
				現状把握	自分自身の力量の把握		
10	将来設計	自己目標		欲求	業界における分野把握ができる		
				業界理解	業界を知り進むべき方向性を理解する		
				現状把握	自分自身の力量の把握		
11	国語力育成	国語力UP		漢字読み書き	漢字読み書き能力を上げる		
				読解力	台本読解力を育む		
				思考力	台本からの思考力を養う		
12	業界理解	声優・俳優業界を学ぶ		声優業界	声優へのステップ理解と養成所		
				俳優業界	俳優業界の現状と進み方		
				エンタメ業界	エンタメ業界の現状と今後を知る		
13	プレゼン	プレゼン能力を向上させる		思考力	作品理解のための思考力を持つ		
				発想力	作品から連想される発想力を育む		
				プレゼン力	作品を理解しプレゼン力に結びつける		
14	ディベート	対話と協調		主張	自分自身の考え方をしっかり持つ		
				伝達	自分の言葉で意思を伝える		
				協調性	意見交換の中で協調性を育む		
15	模擬オーディション	実践		自己PR	しっかりと自己PR出来る		
				自己表現	自分自身を余すことなく表現する		
				パフォーマンス	オーディションを勝ち抜きパフォーマンスが出来る		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等